

令和元年度 第1回
 函館市縄文遺跡群保存活用協議会会議録（要旨）

開催日時	令和元年9月10日（火）15時00分～16時30分
開催場所	函館市南茅部総合センター 講堂
議 題	(1) 協議会の設置と委員の委嘱について (2) 正副会長の選任について (3) 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録に向けた 取り組み状況と今後の予定について (4) 世界遺産登録に伴う保存と活用について (5) その他
出席委員	竹内正幸委員 川村 稔委員 田名部忠勝委員 大宮トシ子委員 酒井康次委員 三浦孝史委員 松浦 宏委員 笠島美教委員 片桐清実委員 熊谷儀一委員 加藤詔三委員 佐々木孝比古委員 (計12名)
事務局	教育委員会 生涯学習部長 堀田三千代 生涯学習部次長 佐藤聖智子 文化財課長 蛭子井慶治 文化財課主査 福田 裕二 文化財課主査 田中 光也 文化財課主任主事 大矢 京右 南茅部支所 地域振興課長 佐藤 安浩 産業建設課長 西村 雅人 都市建設部 景観政策担当課長 長谷山裕一 観光部 観光企画課長 小林 祐樹（代理 庶務係長 岩井 丈） (計 10名)

1 開会

開会 (事務局)	開会
-------------	----

2 挨拶

開催挨拶 (生涯学習部長)	開催挨拶
------------------	------

3 出席者紹介

出席者紹介 (事務局)	協議会委員および事務局紹介
----------------	---------------

4 協議

(1) 協議会の設置および委員の委嘱について

協議会の設置と 委員の委嘱 (事務局)	(資料1) 「函館市縄文遺跡群保存活用協議会設置要綱」説明
---------------------------	----------------------------------

(2) 正副会長の選任について

正副会長の選任 (事務局) (委員一同) (事務局) (委員一同) (事務局) (熊谷会長)	事務局案の提示を求める 熊谷儀一委員(南茅部町内会連絡協議会 会長)を提案 異議なし 熊谷儀一委員を会長に選出 副会長に川村委員(一般財団法人道南歴史文化振興財団 事務局長) を指名
正副会長挨拶 (熊谷会長) (川村副会長)	会長就任挨拶 副会長就任挨拶

(3) 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録に向けた取り組み状況と 今後の予定について

「北海道・北東北 の縄文遺跡群」の 世界文化遺産登 録に向けた取り 組み状況と今後 の予定について (熊谷会長) (事務局)	事務局に説明を指示 (資料2) 『「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進のこれまでの経過」 「今後の世界遺産登録までの主な流れ(想定)」説明
質疑応答 (加藤委員)	2020年夏頃のイコモスによる現地調査は、専門の調査官が何人 来場し、何日間程度調査するのか。

(事務局)	<p>イコモスの調査官は1名。そのほか、文化庁、外務省、推進本部の職員。先日のリハーサルでも総勢20人程度であった。</p> <p>イコモス調査官の専門分野も不明である。</p> <p>全17資産を調査するため、基本的には1資産1日の調査と思われるが、調査時にならないとわからない。</p>
(田名部委員)	<p>バッファゾーンについて、垣ノ島遺跡周辺に太陽光パネルや昆布乾燥施設、加工場跡等もあるが調査に影響あるか。</p>
(事務局)	<p>縄文遺跡たる景観として、現代のものが無いこと、見えないことが望ましいが、現在ある構築物等については、遺跡から見えないように景観を創っていく。修景により縄文の風景を確保していく。</p>

(4) 世界遺産登録に伴う保存と活用について

<p>世界遺産登録に伴う保存と活用について</p> <p>(熊谷会長)</p> <p>(事務局)</p>	<p>事務局に説明を指示</p> <p>(資料3)</p> <p>「世界遺産登録に伴う保存と活用について」</p> <p>(パワーポイントによりスクリーンにて説明)</p>
<p>質疑応答</p> <p>(加藤委員)</p> <p>(事務局)</p>	<p>資産と景観の保全について、バッファゾーン土地所有者へは、どのように説明しているのか。</p> <p>これまでも、地域説明会においても土地所有者に個別案内のうえ、現在の状況と今後についてお知らせしてきたが、少数の参加であり、また、日程も不明確な部分も多かったため、今後議論を進める中であらためて説明を進めていく。</p>
<p>(加藤委員)</p> <p>(事務局)</p>	<p>土地所有者に対しては、事前に具体的な説明が必要と思われる。所有物に様々な制限をかけるのは難しいのでは。土地売買や貸借の制限についても、用地取得などしないと無理でないか。</p> <p>用地取得には至らない。</p> <p>現在、都市建設部とともに景観の保全について協議を始めているところであり、先日、北海道を中心に構成資産における個人財産の保護と世界遺産としての景観の保全について検討をはじめた。</p> <p>民間所有のなかでどう取り組んでいくか模索中であるが、既存構築物については遺跡側からの修景で対応し、改修および新規構築時に協議とする方向で検討していく。</p> <p>景観保護に対する考え方を示し、また市景観審議会に諮りながら、土地所有者ははじめ地域に説明の機会を設けていく。</p>
<p>(加藤委員)</p> <p>(熊谷会長)</p>	<p>抽象的ではなく、具体的なしっかりとした規制・基準等が必要と思われる。</p> <p>加藤委員の意見と同様で、地権者との協議、基本的な考え方を具体的に示すべき。</p>
(事務局)	<p>了解した。</p>

(5) その他

<p>その他 (大宮委員) (事務局)</p>	<p>世界遺産登録に向け、地域の方に対し、縄文文化交流センターを無料見学する機会を設けられないか。入館したことがない方もいる。 様々なイベントや活動を通じ縄文文化交流センターを知っていただくよう案内しているが、指定管理者とも相談し検討したい。</p>
<p>(笠島委員) (事務局)</p>	<p>本協議会では、縄文遺跡に関する課題を協議・検討するということがよろしいか。 今後の協議事項として、 ○ 緩衝地帯（バッファゾーン）の景観対策 ○ 大船遺跡、垣ノ島遺跡の活用 ・ 地域の方を活用したボランティアガイドの育成 ・ 縄文文化交流センターとの一体的な活用方法 ・ 来訪者の増加対策（広域的な観光、観光ツアー、修学旅行の誘致など） ・ 外国人への対応（解説・案内の多言語化など） ○ 地域での取り組み（市全体または南茅部地域） ・ 交通アクセスの改善 （路線バス、シャトルバス、タクシー、レンタカー、レンタサイクルなど） ・ 案内看板などの多言語化 ・ 縄文関連土産の開発 ・ 地域の特産品など特色のある物販 ・ 世界遺産の資産のある地域としての理解と協力 （増加する観光客や外国人への対応、車での来訪者の増加など） このような点について、皆さんからご意見をいただきながら協議していきたい。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>今後の協議会について、本年度2回の開催を予定しており、次回は11～12月頃の開催で調整していく。 第2回の協議会では、世界文化遺産登録の進捗状況のほか、縄文遺跡群の保存と活用、周辺の保全について、より具体的な案件についても情報共有しながら協議していく。 ボランティアガイドの実施方法等についてもご指導いただきたい。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>今年度、市教委主催により実施した世界遺産登録推進に関わる普及・啓発イベント実施報告（チラシおよび記録写真等）および今後の開催周知。</p>

5 閉会

<p>閉会 (事務局)</p>	<p>閉会</p>
---------------------	-----------